

**第10回「 BioFach Japan・オーガニックEXPO」
過去最多の出展者と入場者で成功裏に閉幕！**

報道関係者各位

2010年9月28日

世界最大のオーガニック専門見本市 BioFach ニュルンベルクの長女として2001年に生まれた『BioFach Japan (BioFach・ジャパン) オーガニックEXPO』。10年目の今年は初めてニュルンベルクメッセ (日本代表部：東京都新宿区) が9月21~23日・東京ビッグサイト東4ホールで単独で開催し、オーガニック部門、ナチュラル&エコ部門を合わせ世界18カ国から256社が出展しました。

入場者は1回登録全日有効方式で下記のとおりです：

9月21日 (火)	4,668人 晴れ
9月22日 (水)	5,710人 晴れ
9月23日 (木・祝日)	6,750人 曇/雨

合計

17,132人



オーガニック (Bio= ビオ) 専門 (Fach= ファ) というドイツ語を冠し、有機認証取得もしくはバイオファの独自基準をクリアしたオーガニック部門は、オーガニック・フードギャラリー、オーガニックコットン・ストリート、ウェルネス・パーラーで構成され、認証をとらない、人と自然に配慮した製品はナチュラル&エコ・プラザで紹介されました。

インド、イタリア、オーストラリア、オーストリア、韓国、フランス、メキシコ、島根県等の共同スタンドを始め国内外から集まった豊富な食品群の試飲試食は大好評でした。タオル/寝具にとどまらず、インナーからアウター、和服までも紹介された繊維部門。新しい出展者が大幅に増えたウェルネス部門など、この10年の間にオーガニックライフをカバーする製品のバラエティーの多彩化には目を見張るものがあります。

「さながらオーガニック大学！」をスローガンに催行された充実したセミナーや協力諸機関・新規出展者が大幅に増えたことで、新しい潮流も見えてきました。

「エシカル」「フェアトレード(公正取引)」に対する関心です。また、ナチュラル&エコ・プラザに迎えた住宅部門への一般消費者や業者の関心の高さにも驚かされました。これらの方向は今後にもしっかりとつながっていくものと期待されます。

今年は21日、22日が平日でしたのでビジネスに特化、23日・祝日は一般消費者への普及啓発を目指しました。初めてナチュラル&エコ・プラザで展開された農水省「産地収益力向上支援事業」の有機農業による『農産物マッチングパビリオン』には全国から22の、産地収益力向上支援事業実施地区の協議会を中心に、その構成農業者・グループなどが参加し、マッチングを行いました。商談予約、オンサイトの商談など、どの出展者も充分な手ごたえを感じた3日間でした。

次回、第11回バイオファジャパン・オーガニックEXPOは、11月1日(火)~3日(木・祝日)、東京ビッグサイト東4ホールで開催されます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



本件に関するお問い合わせは

BioFach JapanオーガニックEXPO事務局 ABCエンタープライズ(株)内 担当：中村
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-24-7-210
Tel: 03-5369-6788 Fax: 03-5369-7759 E-mail: biofach@abcenterprises.jp